

地域がん登録・全国がん登録の進捗状況

1. 地域がん登録について

埼玉県内でがんと診断された症例を登録、集計、分析し埼玉県や県内市町村のがん対策に役立てるための仕組み。埼玉県では、平成23年9月に開始した。平成22～27年の間にがんと診断された症例は、地域がん登録の枠組みでデータの収集を行う。平成27年罹患分の届出期限は本年12月末日。

現在までの地域がん登録届出票受領状況

医療機関種別	H22	H23	H24	H25	H26	H27	医療機関種別 合計	医療機関数
拠点・指定病院	2,1761	24,766	26,860	25,593	27,812	3,941	130,733	26
DPC 病院	1,986	11,708	12,740	12,462	9,928	7,104	55,928	33
上記以外の医療機関	261	213	1,824	1,832	2,347	1,126	7,603	58
県外医療機関	4,444	2,725	2,200	2,043	1,820	201	13,433	30
年合計	28,452	39,412	43,624	41,930	41,907	12,372	207,697	147

埼玉県のがん罹患状況

【平成24年】

埼玉県の地域がん登録の集計結果を「埼玉県のがん2012」として平成28年3月に公表。併せてそのpdfファイル及び概要版を県ホームページに公開。全国集計(MCIJ2012)の公表後は、概要版を埼玉県の集計値と全国推計値を同一年(2012年)で比較したものとしている。

	埼玉県 罹患数	年齢調整罹患率	
		埼玉県(2012)	全国推計値(2012)
男	24,965	402.4	447.8
女	16,334	260.4	305.0
男女計	41,300	322.2	365.6

精度指標：DCN 割合 24.2%(全都道府県中 44 番目)、DCO 割合 18.5%(同 40 番目)、IM 比 2.32

国立がん研究センターの設定する精度基準 B(DCO 割合 25%未満、または DCN 割合 30%未満かつ IM 比 1.5 以上)を満たしている

【平成25年】

現在、集計作業中のため暫定値。最終集計結果の公表は昨年度と同時期に行う予定

	罹患数	年齢調整罹患率
男	24,150	378.5
女	16,135	252.2
男女計	40,285	307.0

精度指標：DCN 割合 21.8%、DCO 割合 15.3%、IM 比 2.23

2. 全国がん登録

平成28年1月1日より「がん登録推進法」が施行され、全国がん登録が開始。この日以降にがんと診断された症例は全国がん登録の枠組みで収集、登録される。

これまでに集積された地域がん登録データは、地域がん登録標準データベースシステムから都道府県がんデータベースに移行し、全国がん登録データと合わせて一体的に運用される。

平成28年罹患分の届け出は平成29年12月末日が期限。全国集計結果は、遡り調査を経て平成31年3月頃に公表の予定

地域がん登録の精度指標

DCN 割合	死亡診断書で初めて把握したがんの割合。登録の完全さの指標。低いほどよい
DCO 割合	死亡診断書のみでカウントされているがんの割合。登録の質の指標。低いほどよい
IM 比	罹患数と死亡数の比。一定の範囲に収まるのがよい

埼玉県のがんの罹患の特徴

年齢調整罹患率を部位別に見ると、ほぼすべての部位で全国推計値より低い値を示しています。

ただし、これは登録漏れが多いために見かけ上低くなっている可能性があることを考慮する必要があります。

(全国推計値は国立がん研究センターがん対策情報センター「全国がん罹患モニタリング集計 2012 年罹患数・率報告」(MCIJ2012) より引用)

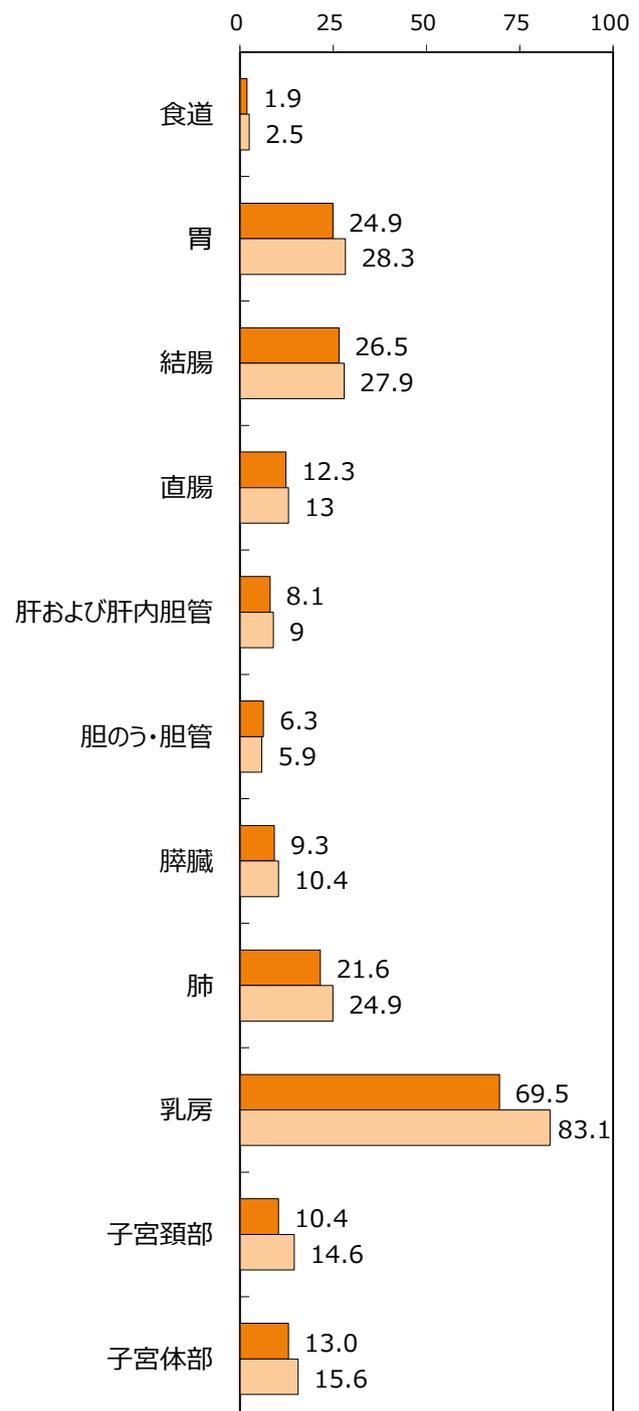
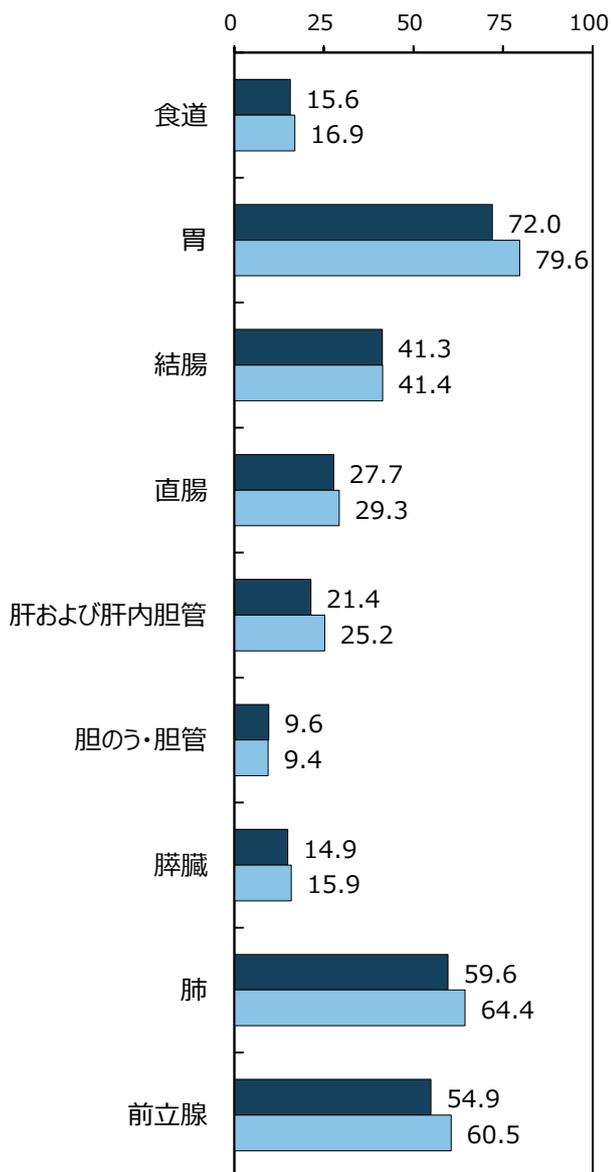
部位別年齢調整罹患率（人口 10 万対）

■ 埼玉県（2012年）
 □ 全国（2012年）

■ 埼玉県（2012年）
 □ 全国（2012年）

男性

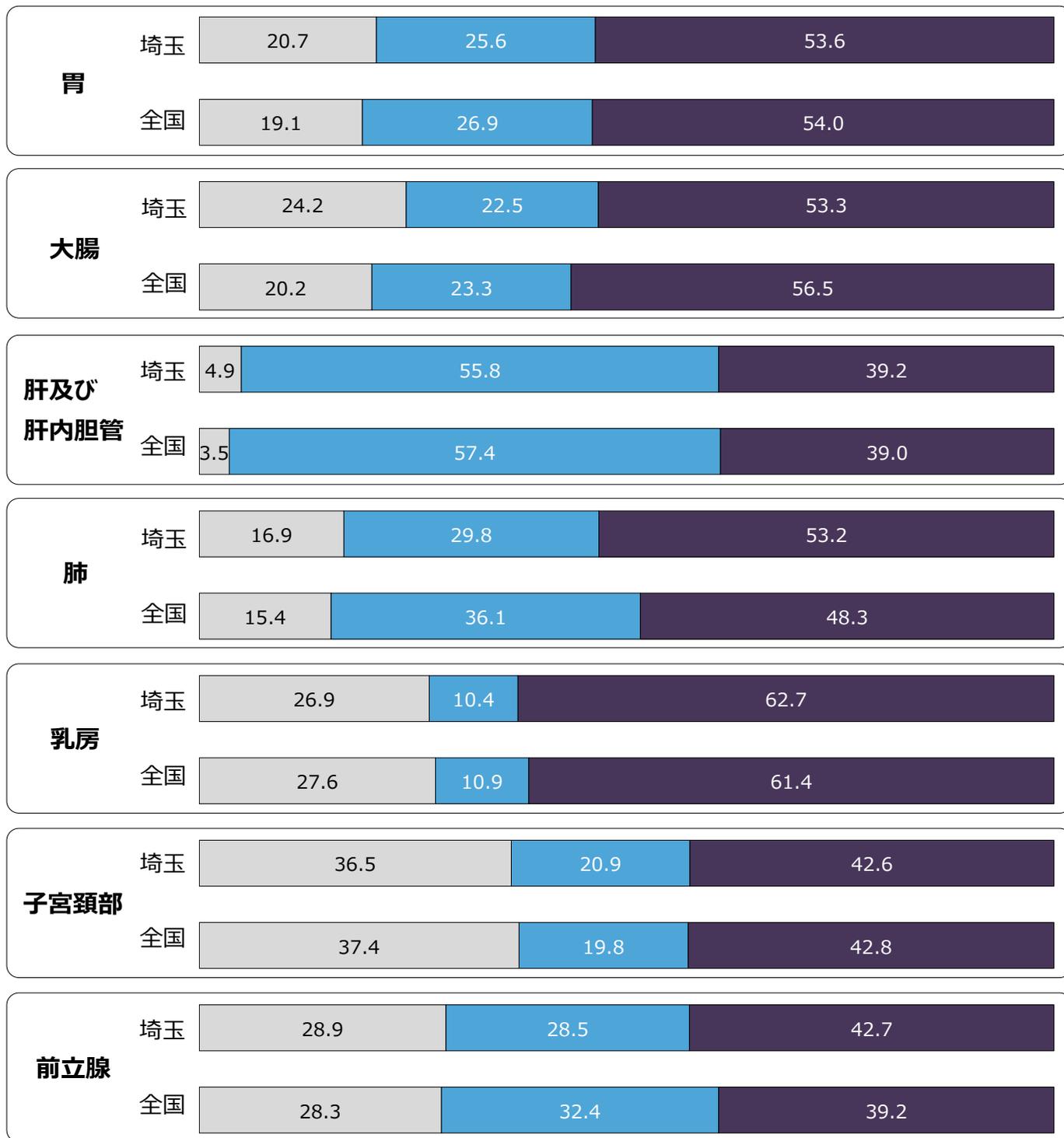
女性



発見経緯

「がん検診」及び「健診・人間ドック」が発見の契機となった症例の割合は、多い順に子宮頸部 36.5%、前立腺 28.9%、乳房 26.9%、大腸 24.2%、胃 20.7%、肺 16.9%でした。全国と比較すると大腸においてがん検診及び健診・人間ドックによる発見が多いことが目立ちます。（全国の値は MCIJ2012 より引用）

□がん検診及び健診・人間ドック ■他疾患の経過観察中 ■その他不明



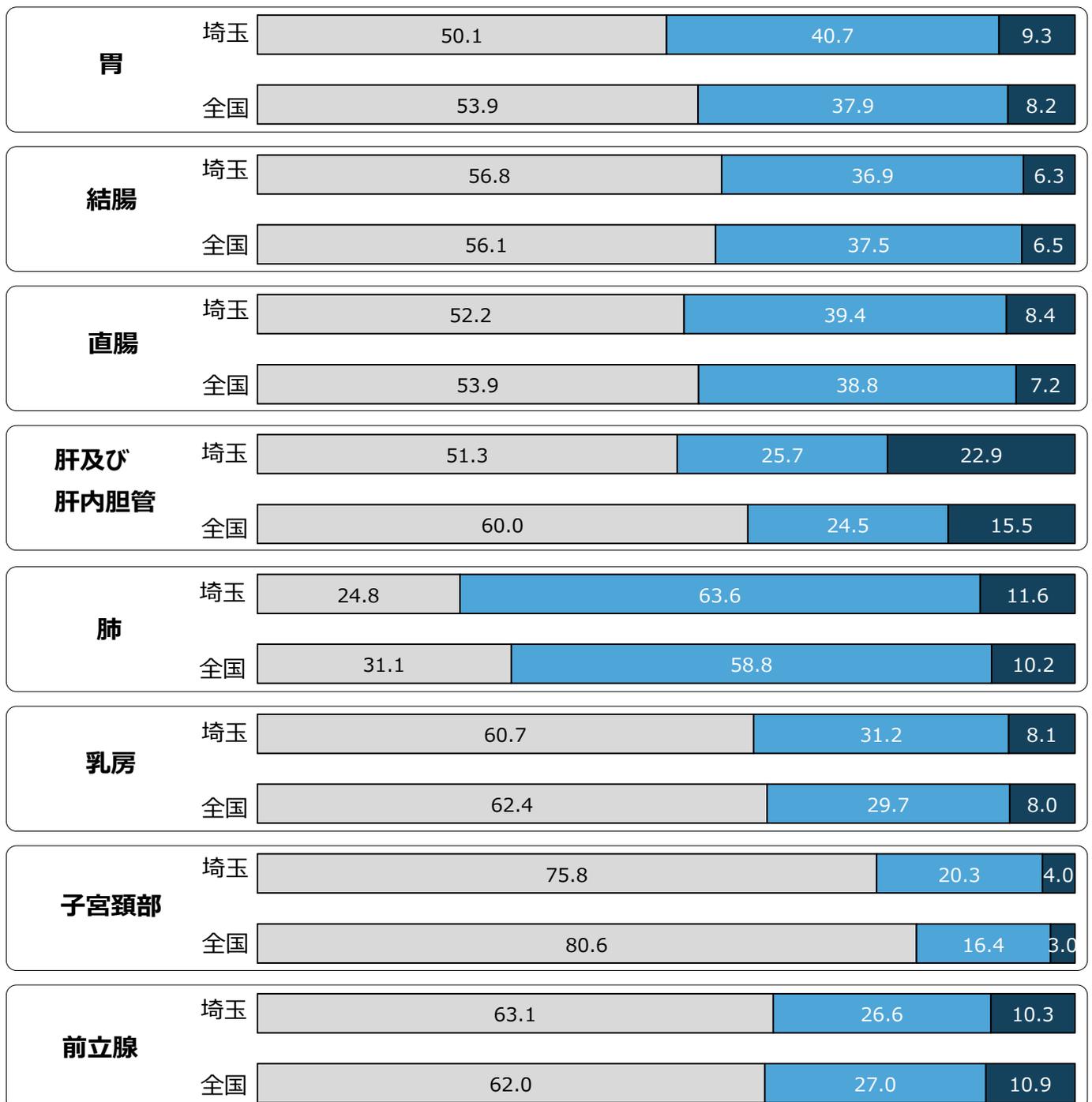
(単位:%)

病期

地域がん登録では、がんが原発巣からどこまで広がっていたかを「上皮内」、「限局」、「所属リンパ節転移」、「隣接臓器浸潤」、「遠隔転移」の五つに分けられますが、ここでは「限局まで」（「上皮内」+「限局」：比較的早期のがん）と「所属リンパ節転移以上」（「所属リンパ節転移」+「隣接臓器浸潤」+「遠隔転移」：進行したがん）の二つに分けて示しています。胃、結腸、直腸、乳房、子宮頸部、前立腺では、発見時には比較的早期にとどまっている割合が高いのに対し、肺では進行したがんである割合が著しく高くなっています。

また全国と比較すると、埼玉県では胃、肺、子宮頸部において早期に診断されるがんの割合が低いことが目立ちます。（全国の値はMCIJ2012より引用）

□ 限局まで ■ 所属リンパ節転移以上 ■ 不明



(単位:%)

埼玉県のがんの死亡の特徴

全部位で見ると、埼玉県では男性173.5、女性92.4、男女計128.5に対し、全国では男性175.7、女性90.3、男女計127.2、と男性では全国より低く、女性で全国より高くなっています。臓器別に見ると、男性の胃、女性の乳房、子宮で全国よりも死亡率が高いこと、男性の肝で全国より低いことがやや目立ちます。（全国の値は国立がん研究センターがん情報サービスから引用）

部位別年齢調整がん死亡率：人口10万対

